



ゼロカーボン新聞【創刊号】



発行：八千代市経済環境部環境政策課ゼロカーボンシティ推進室 令和6年6月

「ゼロカーボン新聞」とは？

八千代市は令和2年12月に、ゼロカーボンシティの実現を目指すことを宣言しました。ゼロカーボンシティとは「脱炭素社会に向けて **2050年二酸化炭素(CO2)実質排出量ゼロ**に取り組むことを表明した地方公共団体」のことです。

皆さんにゼロカーボンについて知っていただき、意識を高めるため、「ゼロカーボン新聞」を発行することとしました。不定期でゼロカーボンに関する情報をお届けするので、家庭や業務への活用を図っていただけますと幸いです。

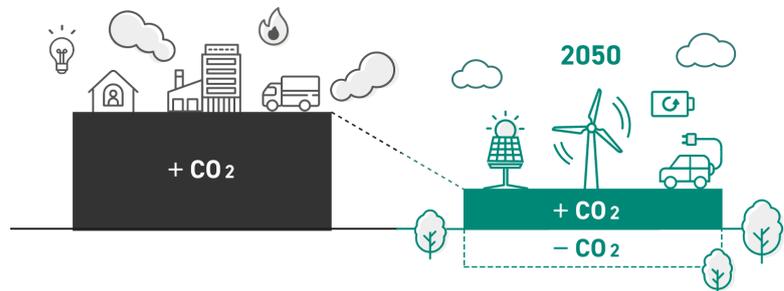


実質排出量ゼロってどういうこと？

二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの「**排出量**」※から、植林、森林管理などによる「**吸収量**」※を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

※ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。

このことから、ゼロカーボンシティを達成するためには、省エネルギー・再生可能エネルギーの普及推進等により、排出量を可能な限り削減し、森林等の吸収源による吸収量の維持を図っていく必要があります。

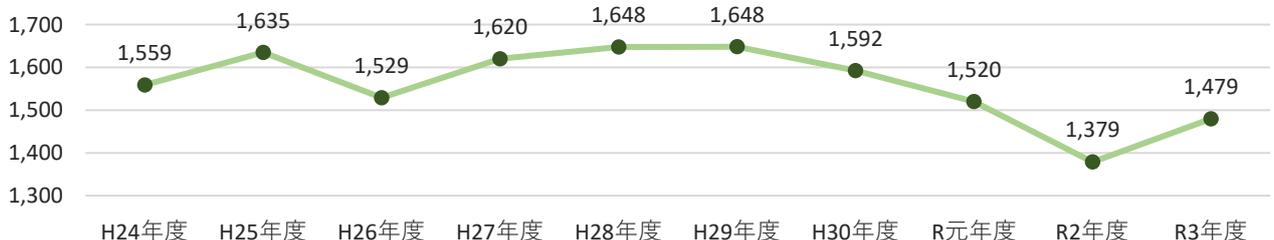


出典：脱炭素ポータル（環境省）

八千代市の最近のCO2の排出量の傾向は？

八千代市の市域におけるCO2の排出量は、令和3年度までの10年間は概ね1,400～1,600千t-CO2程度で推移しており、平成28年・29年の1,648千t-CO2をピークに概ねやや減少傾向にあります。

八千代市のCO2排出量の変遷（単位：千t-CO2）



出典：自治体排出量カルテ（環境省）

令和6年度より「ゼロカーボンシティ推進室」を設置

地球温暖化対策の国際的枠組みである「パリ協定」の発効により、国においては、**2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする政府目標**が掲げられています。

本市においても、**ゼロカーボンシティ宣言**をはじめとして、第3次環境保全計画ではゼロカーボンシティ推進プロジェクトを掲げており、これまで以上に、人々の生活や企業の事業活動におけるエネルギー消費を抑えるとともに、二酸化炭素(CO2)を排出しない再生可能エネルギー等を積極的に活用していく必要があります。

こうした取組について、市として積極的な姿勢を示しつつ、市民、事業者等に対して脱炭素へ向けた取組を強く促すため、ゼロカーボンシティ推進に特化した専門部署として、**令和6年4月1日付けで「ゼロカーボンシティ推進室」**を設置しました。



ゼロカーボンに関連する市の計画

本市は、令和2年12月に、2050年二酸化炭素(CO2)実質排出量ゼロに取り組むことを表明するゼロカーボンシティ宣言を行っており、そこに至るまでの道筋を示すことを目的として、令和5年度に「**八千代市地域脱炭素ロードマップ**」を新規策定しました。

また、本市では、令和3年3月に市の環境の総合的な計画である八千代市第3次環境保全計画を策定し、その中に包含される「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に市域からの温室効果ガス排出量の目標を設定するなどして、脱炭素の取組を進めてきました。

しかし、脱炭素に向けた動きは国内外で加速しており、**温室効果ガスの削減について、より高い目標設定等**が求められるようになりました。また、**気候変動問題**は避けて通ることが出来ない喫緊の課題となっています。

このような社会情勢の変化を受けて、令和5年度に**八千代市第3次環境保全計画及びその関係計画について見直しや新規策定**を行いました。

八千代市地域脱炭素ロードマップ【新規】

→ 市の2050年までに二酸化炭素(CO2)実質排出量ゼロを目指す道筋を示した計画

八千代市第3次環境保全計画(改訂版)【見直し】

→ 市の環境に関する総合的な計画

市域全体の温暖化対策に関しては、市域からの2030年度における

温室効果ガス排出量を2013年度比40%削減とし、更なる高みを目指す。

市の気候変動適応に関する計画を新規追加。

市HPで計画のデータをご確認いただけます。

市HPトップ>さがしかた【組織で探す】>

経済環境部>環境政策課>地球温暖化対策

【ゼロカーボンシティを宣言しました】>

【ゼロカーボンに関連する計画など】

右のQRコードから
ページに入れます!



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」

新しい国民運動「デコ活」をご紹介します。

「デコ活」は、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”

と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

デコ活アクションの入口として、環境省は4つのアクションを提案しています。

詳細は環境省の
サイトでご確認を!



やっち



デコ活 (環境省)

デ

電気も省エネ 断熱住宅 (電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む)

住まいの窓や壁等を熱を伝えづらいものにする「断熱住宅」にすることで、室内外への熱の出入りを抑え、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境となります。

これにより、冷暖房の使用量を抑え、CO2 排出量や光熱費を削減することができます。

また、部屋間の寒暖差が小さくなることで、入浴中のヒートショックを予防するなど健康面でも大きなメリットとなりえます。

コ

こだわる楽しさ エコグッズ (LED・省エネ家電などを選ぶ)

LED や省エネ家電などのエコグッズを生活の中に取り入れることで、光熱費が節約できたり、高機能な製品を通じて快適で便利な生活を送ることができます。

カ

感謝の心 食べ残しゼロ (食品の食べ切り、食材の使い切り)

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のことです。

日本では令和3年度に、約523万トンの食品ロス(家庭から約244万トン、事業者から約279万トン)が発生したと推計されています。

家庭からの食品ロスの要因は、料理を作りすぎるなどして捨ててしまう「食べ残し」、野菜の皮や茎など食べられるところまで切って捨ててしまう「過剰除去」、未開封のまま食べずに捨ててしまう「直接廃棄」です。

食品ロスを減らすことは、廃棄物の減量はもちろんのこと、食費の節約にもつながります。

ツ

つながるオフィス テレワーク (どこでもつながれば、そこが仕事場に)

テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用し時間や場所にとらわれない働き方のこと。

移動時間の削減により、通勤の疲労を減らし、余暇時間を増やします。

また、転職をせずに地方移住ができたり、育児や介護中でも働けるなど、多様な働き方・ワークライフバランスも実現します。

お知らせ ～ 令和5年度のゼロカーボンに関する事業者との取組 ～

ここでは、令和5年度にあったゼロカーボンに関する事業者との取組をいくつかご紹介いたします。なお、すでに市HPでご紹介している内容もございますが、あらためて簡単にお知らせさせていただきます。



やっち

大多喜ガス・東京ガスと太陽光 PPA 事業の共同検証

カーボンニュートラルシティ実現に向けた包括連携協定を締結した大多喜ガス株式会社及び東京ガス株式会社と、令和5年12月から**太陽光PPA事業の共同検証**を開始しました。**学校給食センター東八千代調理場**、**学校給食センター西八千代調理場**への太陽光発電設備の導入に向け、現地調査、太陽光パネルの設置計画検討、費用算定等を実施しています。

「PPA」(Power Purchase Agreement)

とは電力販売契約という意味で、企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金とCO2排出の削減ができます。



東八千代調理場



西八千代調理場

アーステクニカと包括連携協定を締結しました！

八千代市と株式会社アーステクニカは、相互に連携することにより、それぞれの資源を有効に活用した協働による活動を推進し、**本市のゼロカーボンシティの実現**、**一層の地域社会の発展と市域防災機能の強化を図ることを目的として**、令和5年9月20日に、包括連携協定を締結しました。

【連携事項】

- (1) ゼロカーボンシティ実現に資するエネルギー調達に関すること
- (2) 環境エネルギー教育等を通じた啓発事項に関すること
- (3) ゼロカーボンシティ実現のため市が策定する各種計画等の取組に関すること
- (4) 株式会社アーステクニカの保有するEVバスの機能を活かし、災害時等における移動式の大容量蓄電池、地域の一時的な避難場所、移動手段及び平時のイベント等での活用を通じて地域の方々に利便を提供すること
- (5) 湧水時等の災害時において、株式会社アーステクニカの自家用井戸を活用した飲料水、生活用水としての提供
- (6) 相互の連携協力による地域社会の発展と活性化に関すること
- (7) その他ゼロカーボンシティ実現及び防災対策の推進に関すること



写真左から
八千代市：服部市長
株式会社アーステクニカ：西代表取締役社長

令和6年3月に開催した「八千代新川千本桜まつり2024」では、アーステクニカのEVバスに蓄えた電気と市民発電所（太陽光発電）による電気を使って**エコライトアップ**を実現しました。



電気供給



河津さくらエコライトアップ

やっち